

テブフェンピラド乳剤 ピラニカ EW	取扱メーカー： クミカ、日本曹達、琉産 原体メーカー： 日農
成分： テブフェンピラド〔PRTR・1種〕……………10.0% その他 PRTR 該当成分： ナフタレン〔PRTR・1種〕……………3.0%	性状： 類白色乳濁液体 毒性： 劇物 消防法： —

【品目特性】……………

- ピラニカ水和剤の項参照。
- EW製剤のため汚れが少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布ムラのないように丁寧に散布する。
- 連続散布は、ハダニ類の抵抗性を増加させるおそれがあるので、年1回の使用とし、他の殺ダニ剤との輪番で使用する。

〈作物別散布適期〉

- 茶
 - 一番茶萌芽前
 - 一番茶摘採後
 - 秋芽生育期
 - 晩秋期

いずれの時期でも安定した防除が可能。

- いちご
授粉昆虫に影響が少ないので、開花期でも使用できる。

- なす、きゅうり、すいか、メロン
使用時期はなす、きゅうりで前日まで、すいか、メロンで3日前まで。

●カーネーション

主要品種に被害も無く、安心して使用できる。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。
- 適用作物（ばら）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（さつき）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項の8、適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項6、街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	テフエンピドを含 む農薬の総使用回数
もも	ハダニ類	1000 ～ 2000倍	200 ～ 700 ℓ	14日前まで	1 回	散布	1 回
おうとう	チャノホコリダニ	2000倍	150 ～ 300 ℓ	30日前まで			
なす	ハダニ類	2000 ～ 3000倍		前日まで	2 回以内		2 回以内
いちご	うどんこ病 アブラムシ類	2000倍					
すいか	ハダニ類	2000 ～ 3000倍		前日まで	2 回以内		2 回以内
メロン	アブラムシ類	2000倍					
きゅうり	カンザワハダニ	1000 ～ 2000倍		摘採 21 日前まで	2 回以内		2 回以内
さといも	ハダニ類	1000倍					
あずき	カンザワハダニ	2000倍	発生初期	2 回以内	2 回以内		
茶	チャノミドリヒメヨコバイ	1000倍					200 ～ 400 ℓ
花き類 ・観葉植物 (カーネーション、 きくを除く)	ハダニ類	2000倍	150 ～ 300 ℓ	発生初期	2 回以内		
カーネーション		1000 ～ 2000倍					2000倍
きく	アブラムシ類	1000倍	2000倍	2 回以内	2 回以内		
やなぎ	ハダニ類	2000倍					2000倍
ほおずき	チャノホコリダニ	2000倍	200 ～ 700 ℓ	2 回以内	2 回以内		
しきみ	サビダニ類	1000倍					200 ～ 700 ℓ